

青森県春季陸上競技選手権大会 競技場及び駐車場使用についての注意事項

1 競技場使用時間について

- (1) 大会開催期間中の開門は6時30分とする。
- (2) 閉門時間は、2日目までは18時30分、最終日は17時30分とする。
- (3) 決められた時間以内で使用して下さい。また、時間前に塀を乗り越えてグラウンド内に入らないでください。

2 競技場・補助競技上の使用について

- (1) 競技場・補助競技場での練習の際は、安全に留意し、監督の責任において練習を行ってください。

3 各校の控え場所・横断幕・のぼりについて

- (1) 各団体譲り合い、テントの設営をお願いします。更衣室を控え場所としての使用は禁止します。
- (2) テントを設営する際は、手すりにロープを結ばないようにお願いします。競技終了後、テントはたたみ、飛ばされないようにお帰りください。
- (3) 横断幕は1校1枚でお願いします。のぼりは県内大会では規制していませんが、東北大会等ではフェンスに設置できる本数は、1校2本までとなっています。

4 競技用具について

- (1) 用具借用については用器具係の指示に従い借用してください。許可なく勝手に使用しないでください。用具を返納する場合は、出したときの数（個数）が一致するよう確認してから返してください。各自が勝手に他の人に又貸ししないでください。
- (2) 各用具が破損したときは、必ず用器具係に申し出てください。

5 駐車場について

- (1) 指定されている場所に駐車してください。また、誘導員の指示に従ってください。
 - ・大型バス・マイクロバスは、全て第1駐車場へ（プール、第3ゲート付近への駐車は禁止）駐車してください。
 - ・乗用車は競技場裏側臨時駐車場及び第1駐車場と第2駐車場へ駐車してください。
 - ・駐車場の見取り図を参照してください。公園内○印指定場所・公園内×印道路は禁止です。
- (2) 道路及び芝の植え込み等に乗り上げて駐車しないでください。

6 貴重品の管理について

- (1) 置き引き、盗難等が発生する恐れがあるため、貴重品の管理は、各団体で十分注意してください。

7 ゴミ処理について

- (1) ゴミは、各団体（各自）で持ち帰ることを原則とします。ただし、最終日のみは下記に従い処理して下さい。

青森県春季陸上競技選手権大会 練習会場使用について

【主競技場】トラック・跳躍

5月4日（金） 6:30～8:10 競技終了後～18:30 までは練習可能

5月5日（土）～6日（日） 7:00～8:30 競技終了後～18:30、最終日は17:30

○周回1・2レーンは中長距離ならびに競歩、タイムトライアル用。

○周回3・4・5・6レーンはリレーのバトンパスを含めた短距離。

○第1曲走路からバック走路7・8レーンは400mH。（7レーンは女子、8レーンは男子）

○ホームストレート3～6レーンは短距離。

○ホームストレート7レーンは100mH、8レーンは110mH。

※投てき種目については、投てき用具を持ち込まなければ助走やターンの練習は許可する。

※主競技場内でのミニハードルやラダー等の使用を禁止する。

【補助競技場】トラック・跳躍

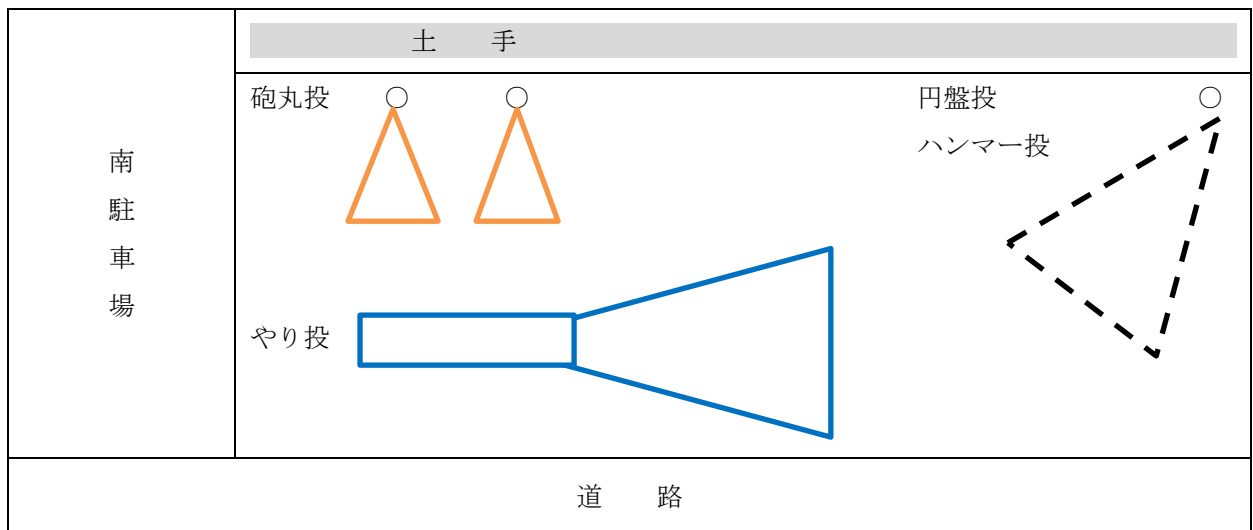
5月4日（金）6:30～17:30 5月5日（土）6:30～17:30 5月6日（日）6:30～17:00

※投てき練習については、練習を禁止する。

【投てき練習場】（キャッチボール広場）

（砲丸投は5月4日～5月6日終日使用可能です）

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
4日（金）	ハンマー						円盤投					
5日（土）	円盤投						やり投					
6日（日）	やり投											



【練習会場での注意事項】

- (1) 練習は指定された練習会場では、監督の立ち会い・責任のもと、指定された時間で行うこと。
- (2) 練習会場には、選手、監督・コーチ以外立ち入らないこと。
- (3) 練習会場、特に投てき練習場では危険が伴うので、十分注意して行うこと。
 - ・レーンを横切る際は、前後左右を確認し、安全に留意する。
 - ・投てき練習の際は、安全を確認し、投げることを周りに伝えてから投げること。
- (4) トラック競技およびフィールド競技において、代理人による順番待ちを禁止する。
- (5) 各練習会場のトラックにおいて次の行為を禁止する。
 - ①ラダー、ミニハードルなどの道具をレーン上においての練習
 - ②チューブやロープなどで牽引する練習
 - ③逆走
 - ④ジョグ、準備運動、ドリル等の技術練習
 - ⑤急に減速したり、立ち止まったりする行為
 - ⑥不用意にトラックを横切る行為
- (6) 全天候舗装の走路は、9mm以下のスパイクを使用すること。ただし、走り高跳び・やり投については12mm以下とする。
- (7) 練習会場において、全日程を通して競技の終了した種目の用器具は準備しない。
- (8) 主競技場のメインスタンド下中央通路での練習は禁止する。
- (9) 使用した用具は、きちんと片付けること。